

同 朋 講 座 開 催 要 項

1. 目 的

「御同朋の社会をめざす運動」（実践運動）に取り組むにあたり、基幹運動（同朋運動）の経緯を踏まえ、部落差別をはじめ、人権・差別問題についての基本的認識を深めることを目的とする

2. テキスト

「御同朋の社会をめざす運動」（実践運動）教区委員会 同朋部制作の「リーフレット」を基本テキストとする。また、組で選定した、目的に則した独自のテキストを使用することもできる。

＊「リーフレット」について

問題提起に用いる（連研ノートと同じ役割を持つ）

3. カリキュラム

- ・ 1 期＝ 2 年 4 回
- ・ 必修単元：部落差別
- ・ 選択単元：次の中からテーマを選択する
ハンセン病差別・非戦平和・男女共同参画・障害者差別・
（在日）外国人差別・教団の歴史・現地学習
※目的に則した独自のテーマを設定することもできる

4. 研修対象

- ・ 組を単位とし、門信徒ならびに僧侶・寺族を対象とする。
- ・ 同一人物が連続して受ける。

5. 基本日程

連研形式の 3 時間研修を原則とし、話し合い法座により研修を深める

・ 開会行事	1 5 分
・ 問題提起	3 0 分
・ 班別討議（話し合い法座）	6 0 分
・ 班発表	2 0 分
・ まとめ	3 0 分
・ 閉会行事	1 0 分
（途中の移動ならびに休憩	1 5 分）

6. 助 成 金

- 1 回 1 万円（但し年 2 回まで）
- 3 組以上で合同開催の場合は 3 万円

7. 申 請

所定の申請書（報告書）提出により申請する

8. 研修継続

目的の遂行・拡大のため、1 期が終了毎に、原則として参加者を入れ替え継続する

9. 備 考

門徒推進員養成連続研修会の 1 枠として取り組むこともできる。

以上

『同朋（人権）講座』 開催報告書

開 催 組 名 (ブ ロ ッ ク)		会 場	
開 催 期 日		参 加 者 数	
研 修 テ ー マ		講 師	
使 用 教 材			
研 修 日 程			

研修内容の概略（意見・特記事項など）

研修を振り返って（今後の課題など）

上記の通り報告致します。

組 組長

印